

# たかつき 2012 3

大阪高槻ワイズメンズクラブ

〒569-0804 高槻市紺屋町8番5号 高槻YMCA Tel 072(682)1322  
Fax 072(681)7393



役員会

- 会長 河戸
- 副会長 森本・金田
- 書記 伊藤正・勝田
- 会計 栗田・井尻
- 会計監査 西田
- 直前会長 川岸
- 幹事 高木
- 連絡職員 小西

主題・標語

国際会長：Finn A.Pedersen (ノルウェー)  
 主題：“To dare is to do”  
 「とにかくやろうー成せば成る」  
 アジア会長：Wichian Boonmapajorn (タイ)  
 主題：“To dare is to do”  
 「とにかくやろうー成せば成る」  
 スローガン：“Mission with Faith”  
 「信念をもって使命をはたそう」  
 西日本区理事：浅岡徹夫(近江八幡)  
 主題：「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」  
 副題：「ー理想を目指して変革と行動！ー」  
 中西部長：清水誠治郎(大阪西)  
 主題：「であいで愛」  
 大阪高槻クラブ会長：  
 「未来に向けて今こそ英知を！そして行動を！」

行事予定

3月 EF・JWFの月

感謝の気持ちを献金という形で  
あらわしましょう。

三牧 勉ファンド主任

| 月日      | 曜日  | 行事                      |
|---------|-----|-------------------------|
| 3/10・11 | 土・日 | 次期会長主査研修会<br>チサンホテル新大阪  |
| 3/14    | 水   | 例会(19:00~)<br>たかつき京都ホテル |
| 3/20    | 火・祝 | YMCAリーダー感謝会<br>(16:00~) |
| 3/21    | 水   | 役員会(19:00~)<br>豊都ビル3F   |

今月の聖句

神は、おくびょうの霊ではなく、力と愛と思慮分別の霊を  
わたしたちにくださったのです。

テモテへの手紙二 1章7節

聖句解説

3月は年度末であり学校や企業では1年の業績や成果が問われる時です。  
 同様に、私たちも過去1年を振り返り、色々遭遇してきたことを通して、喜  
 びや悲しみなど、「人生」と云う時間を意識することになります。  
 ギリシャ語では時間を表す言葉として、時間の長さを表す「クロノス」と云  
 う言葉と、時間の質とか内容を表す「カイロス」と云う言葉があります。大切  
 なのは単なる時間の長さを意識することではなく私たちが神さまから与えられ  
 た人間の内的時間を充実させていくカイロスの生き方ではないでしょうか。

3月例会

ミャンマーのYMCA活動

川岸 清メン・一瀬 恵リーダー

とき：3月14日(水) 19:00~21:00 ところ：たかつき京都ホテル

「ミャンマー(ビルマ)」(ミャンマー連邦共和国)  
 は、東南アジアに位置する共和制国家。歴史的には  
 11世紀のパガン朝まで遡ることが出来る。

国土面積は日本の1.8倍、人口は約五千万人。

大阪YMCAは、マンダレーYMCAとパートナ  
 シップを結んでおり、例年、スタッフの研修ツア  
 ーが行われていたが、今年からリーダーのワークキャン  
 プがおこなわれるようになった。



|                  |           |         |             |          |          |             |
|------------------|-----------|---------|-------------|----------|----------|-------------|
| 2<br>月<br>例<br>会 | 在籍 23名    | メネット 0名 | 2<br>月<br>度 | ニコニコ     | ファンド     | BF          |
|                  | 広義・功労 2名  | コメント 0名 |             | 13,000円  | 30,500円  | 切手 1,240pt  |
|                  | 出席 16名    | ビジター 0名 |             |          |          | 現金 29,810pt |
|                  | メイクアップ 2名 | ゲスト 0名  |             |          |          |             |
|                  | 出席率 85.7% |         | 累計          | 102,526円 | 107,500円 | 31,050pt    |

〈 搜してみてください 〉

ファンドを充実させるため、  
 退蔵されている有価券を搜して  
 みてください。

テレカ、図書券、ビール券等、  
 机の中、靴の中を搜してファン  
 ドにご提供下さい。

## 30周年記念例会全員登録のお願い

高槻クラブの30周年記念例会日まであと40日あまり。当日の役割分担も、2月例会で発表されました。

実行委員会からの各クラブへの熱心な呼掛けもあって、出席者も成功ラインの130人の大台に乗りそうです。勿論、高槻クラブのメンバー、メネットの全員登録があつてのことです。

皆さんの全員登録をよろしくお願ひします。

### 当日の役割分担 (◎は担当長)

実行委員会—◎森本、大谷、金田、栗田、河戸。

本部・進行—◎金田、伊藤正、大谷、長野、西野、山崎。

受付—◎勝田、伊藤俊、川岸、西田、全メネット。

会場誘導—◎萩原、中浜、浜脇、中浜、小西、西山、高槻Yリーダー。

記録—◎三浦、勝田、高木、三島。

会計—◎井尻、栗田、松下。

スライド「30周年の歩み」制作

—◎森本、伊藤正、大谷、勝田、金田、栗田。

## 事業主任制度の見直し案

この度、西日本区役員会の機構改革についての諮問を受けた「常任役員会・組織検討安全委員会合同委員会」から、現在の7事業を5事業と1委員会に再編する案(素案)が提示されました。

区理事は、4月の第3回西日本区役員会に先立ち、各クラブ会長にこの素案に対する意見を3月20日までに部長当て提出するよう求めています。(3面役員会報告参照)

【素案】 西日本区における7事業を下記のように5事業と1委員会に再編する。

1. Yサ事業→現行のまま。
2. 地域事業→現行のまま。
3. E M C→現行に加え①のDBCを所掌。
4. 交流事業 ①DBC→EMCに移管↑  
②IBC→新設国際事業に移管。  
③YEPP&STEP→同上
5. ファンド ①B F→ 同上  
②E F→ 同上  
③JWF→JWF管理委員会の所掌。

(交流事業、ファンド事業を再編し国際事業を新設)

6. 広報事業→情報委員会と統合し、広報・情報委員会とする。
7. メネット→現行のまま。

## メネット事業通信より

今期のメネット国内事業は、「東日本大震災復興支援に対するボランティアリーダー達への活動支援」とし、支援額120万円を目標に、活動してきました。

12月20日現在で、

|         |    |        |     |
|---------|----|--------|-----|
| 名古屋YMCA | 4名 | 大阪YMCA | 5名  |
| 奈良YMCA  | 8名 | 神戸YMCA | 12名 |
| 岡山YMCA  | 8名 | 広島YMCA | 20名 |
| 熊本YMCA  | 9名 |        |     |

の補助申請があり、66名のボランティアリーダー達を震災復興派遣することが出来ました。

被災地での貴重な体験を通して、今後、彼らがどのように成長してくれるのか、メネットとしては温かい気持ちで見守り続けたいと思っています。

以下は、各YMCAからの活動報告です。(抄録)

(大阪YMCAからの報告：東YMCA鈴木えみ)

派遣日：11/25～11/28(車中泊2泊)

派遣先：南三陸町志津川(宮城県)

「食事をしながら誰とでも良い、ゆっくり話をする機会がほしい」9月の全大阪リーダー被災地支援キャラバン中に、仮設住宅で聞いた言葉です。

東大阪リーダー会で食を提供するだけでなく、一緒に作ったり、食べたりしながら会話をする空間を造ろうと「たこ焼きパーティー」を企画しました。

今回、リーダー自身が目的意識をもち、皆で事前準備を行い、11人分の旅費、食材費集めにフリーマーケットや、募金活動をしたことがリーダー達の大きな学びになったと感じております。

現地YMCA、一般ボランティア、一緒に働いた被災者の方、そして西日本区メネット会の方々など多くの方に支えられての活動に「感謝の気持ち」と「やり遂げることが出来た自信」がリーダー一人一人の中に芽生えております。

現地では、1日目のチラシ配付からその地域の方と積極的に交流するリーダーの姿がありました。2日目の炊出しには近隣の仮設住宅からだけでなく、遠方からもYMCAサマーキャンプに参加した子ども達も駆けつけてくれました。

たこ焼きが焼きあがるまで並んで下さった方々とキャンプソングや童謡を歌ったり、たこ焼きを一緒に焼いたり、方言講座が始まったりと、リーダーたちが意図していた空間が提供できたと感じています。

印象的だったのは、仮設にお住まいの老婦人が「こんなに笑ったのは仮設に入ってから始めて！」と仰ってくださったことです。

継続的な支援を考えているリーダーたちにとって大変勇気付けられる言葉でした。

日時：2012年2月15日(水) 19:00~21:00

場所：豊都ビル3F

出席者：河戸、井尻、伊藤(正)、大谷、勝田、金田  
栗田、高木、西野、三浦、森本

### 【連絡・報告事項】

1. 1/22(日) 高槻シティハーフマラソン(駐車場係)  
河戸、井尻、伊藤(正)、伊藤(俊)、勝田、金田、  
川岸、中浜、西野、萩原、浜脇、三浦(12名)
2. 2/8(水) 2月例会 市民交流センター4F  
第4会議室 出席：メン16名、Mu2名  
切手整理と30周年記念例会打ち合わせ  
前年度切手：国内切手1.9kg 外国切手0.1kg  
合計2.0kg 買い取り価格1,240円。  
今回の整理済切手は西野メンが保管。

3. YMCA東日本震災募金(JR高槻駅)  
3/4、3/11、3/18(各日曜)(時間別稿参照)

### 【協議事項】

1. 3月例会(ミャンマー報告)  
3/14(水) 19:00~21:00 たかつき京都ホテル  
川岸メンと一瀬 恵(くうちゃんリーダー)  
(高槻YMCAのワークキャンプ派遣リーダー)  
例会担当：三島・浜脇・伊藤(俊)、小西、河戸  
司会：小西 聖句：伊藤(俊) 寸評：伊藤(俊)  
道具担当：森本⇒栗田 謝礼：お菓子(栗田)  
会費：メネット、ビジター、ゲスト2,200円
2. ノルウェー世界大会参加ユースリーダー支援の件。  
参加リーダーの費用に一人2コインの支援金の  
要請あり⇒承認(中西部ユースの参加を確認する)
3. 奈良傳賞推薦について  
当クラブからの推薦者なし。
4. 西日本区事業主任制度の見直しの件。(資料有)

### 【検討内容】

- メリット：事業部門の減少による経費削減。  
デメリット：責務を減らさない限り、主任1人  
当たりの仕事量は増。  
事業再編の効果望み薄。現行維持を提言⇒承認  
(EMCが急務との意見あり)
5. クラブ30周年記念事業について(森本)  
2月例会で報告の概要と役割分担をもとに細部  
を調整中。まとめ次第、各担当部門の担当者  
も加えてミーティングをする。
  6. クラブ会則の細則について(森本)  
検討内容を踏まえて再調整。⇒継続審議
  7. クラブ運営について  
EMCのために新入会員のフォローが不可欠。
  8. 西日本区大会の件⇒3月例会で参加者確認 以上

### 追悼の意を込めて街頭募金

……東日本大震災から1年

東日本大震災から1年。高槻YMCAでは追悼の  
意を込め、また継続した被災地支援を行うため、  
街頭募金を

3月4日(日) 16時45分~17時45分、

3月11日(日) 16時20分~17時20分、

3月18日(日) 17時15分~18時15分

いずれもJR高槻駅松坂屋前陸橋付近において実  
施いたします。

街頭募金にはメンバー、保護者、ユースボラン  
ティアリーダー、ワイズメンの方々へ呼びかけ、  
高槻YMCAに集う方々と共に支援の輪を広げる事が  
できればと考えております。

この皆様から集められた募金は、大阪YMCAか  
ら日本YMCA同盟を通して被災地支援事業、現地  
YMCAおよび関係団体支援に用いられます。

高槻YMCAでは、被災地の子どもたちのこころ  
のケアのためのキャンプ「サンシャインキャンプ」  
を夏休みから実施しております。春休み以降も継  
続して、被災された子どもたちの支援、特に目  
に見えない心のケアに焦点を置きキャンプを実施  
する予定であります。

被災した方で近畿圏に避難されている子ども  
たちを対象に、高槻YMCAのシーズンキャンプに招  
待し、その中でグループワークや自然体験活動  
を通して子どもたちの心を元気にする取り組みを  
行います。夏休み、冬休みにも同じ取り組みを  
しており、福島県、千葉県からの避難者合計6名  
の子どもたちが高槻YMCAのキャンプに参加して  
くれました。

その中で避難されている保護者の方のお話しを  
伺うと「放射線」の問題、子どもたちのトラウマ  
の問題が浮き彫りになってきます。

目に見えない放射線の恐怖から、子どもを外遊  
びに行かせてあげることができない。しかし、子  
どもたちに長期休暇の期間だけでも外遊びに出さ  
せてあげたい。そんな保護者の方の気持ちや子  
どもたちの「外で思いっきり遊びたい!」という  
気持ちに答えながら活動を進めて来ました。

お友だちと一緒に自然活動を行う事によって、  
被災した子どもたちに笑顔を、保護者の方に安心  
を提供する事ができたのではないのでしょうか。

今回の募金は、引き続きこのような活動を実施  
していくための街頭募金となります。

皆様のご協力宜しくお願いいたします。





47年前、恩師夫妻に誘われての横浜ワイズメンズクラブ入会当日のことが思い出されました。

当時、横浜クラブは、大阪クラブと並ぶ、東西の両雄クラブでありました。東日本区での老舗クラブで、会員も横浜地域において社会的地位の高い方、会社経営者、教育者、行政関係者など、多士済々のクラブでした。

初参加の例会で、バケツの水に古切手を浸し、古新聞に一枚一枚剥がした切手を並べて干し、通常切手、記念切手、外国切手などに分類仕分けし、丁寧に紙テープで束ねる作業を黙々とされている姿に驚き、これがワイズ運動の原点と教えられてきました。

今は、持ち寄った古切手の周囲を切り取るだけで良くなり、昔ほどの手間と根気は要らなくなりましたが、お互い話をしながら、和気藹々と作業を行いました。

その後、クラブ30周年記念例会に向けて、森本実行委員長より、今日までの実行委員での検討内容の報告、他クラブへのPR訪問の結果、当日の役割分担等の説明がなされました。

リーダー感謝会の後案内

高槻・茨木YMCA

この3月、学生生活を卒え、社会に巣立つリーダーが大勢います。その者たちの卒業を祝う「リーダー感謝会」を行います。皆様方の多くの祝福のもと、会がおこなわれ素晴らしい一時となることを強く願っております。ぜひ、ご参加ください。

この1年のご奉仕に対し、互いに感謝する時としていただければ幸いです。

とき：3月20日(祝・火) 16:00~19:30

ところ：高槻YMCA 1Fスタジオ

スケジュール：第1部 礼拝

第2部 授与式・送る会

第3部 懇親会

参加費：1,000円(差し入れ歓迎♪♪♪)

持ち物：マイ箸、マイ皿、マイカップ

3月例会プログラム

2012年3月14日(水) 19:00~21:00 たかつき京都ホテル  
司会 小西 雄希

- |                  |           |       |
|------------------|-----------|-------|
| 1. 開会点鐘          | 会         | 長     |
| 2. ワイズソング        | 一         | 同     |
| 3. 会長挨拶          | 会         | 長     |
| 4. ゲスト紹介         | 副         | 会 長   |
| 5. 聖句朗読・食前感謝     | 伊藤 俊彦     |       |
| 6. 晩餐と歓談         | 一         | 同     |
| 7. ニコニコアワー       |           | ドライバー |
| 8. ミャンマー報告       | 川岸 清・一瀬 恵 |       |
| 9. インフォメーション     | 書         | 記 他   |
| 10. 誕生日・結婚記念日お祝い | 会         | 長     |
| 11. YMCAの歌       | 一         | 同     |
| 12. 閉会挨拶と点鐘      | 会         | 長     |

お誕生日おめでとう

- |                 |     |         |     |
|-----------------|-----|---------|-----|
| 森本 榮三 君         | 5日  | 西山新太郎 君 | 7日  |
| 川岸 清 君          | 14日 | 中浜 実 君  | 21日 |
| 伊藤 俊枝(正尚メネット)さん |     |         | 16日 |

結婚記念日おめでとう

- |              |     |
|--------------|-----|
| 中浜 実・照子 ご夫妻  | 19日 |
| 森本 榮三・好子 ご夫妻 | 24日 |

☆今月の例会当番は、三島、浜脇、伊藤俊、小西、河戸の諸君です。